

平成18年度関東倶楽部対抗栃木第2ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 26倶楽部・182名)

期日：平成18年5月25日(木)

場所：東宇都宮カントリークラブ南・西コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(南コース)よりスタート Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	片家 勇	広陵	杉山 利行	鬼怒川	-	思い川東急	金子 秀人	矢板
2	7:38	増 淵 正己	東宇都宮	大和田 博	パークレイ	谷 津 行男	烏山城	加茂野 新一	栃木ヶ丘
3	7:46	和田 学	風月	安藤 誠	皐月・鹿沼	國井 忠男	鶴	奥澤 利光	那須
4	7:54	麦倉 伊望	唐沢	佐々木 啓一郎	サンヒルズ	唐澤 重信	喜連川	古沢 章司	下野
5	8:02	見山 寛平	那須小川	佐藤 利雄	ユーアイ	小美野 英二	大平台	俵藤 操	塩原
6	8:10	鈴木 順雄	杉ノ郷	中村 英一	宇都宮	遠藤 斌	南摩城	矢吹 元良	ゴールデンレイクス
7	8:18	高嶋 一	栃の木	渡辺 節治	東松苑	佐々木 完二	広陵	-	思い川東急
8	8:26	磯貝 康男	東宇都宮	吉田 賢一	烏山城	花井 源二郎	風月	中村 智春	鶴
9	8:34	奥澤 勝時	唐沢	大豆生田 久雄	喜連川	近藤 一之	那須小川	細沼 和秋	大平台
10	8:42	成 楽英	杉ノ郷	安藤 正義	南摩城	川田 賢一	栃の木	高久 栄司郎	鬼怒川
11	8:50	高野 博志	矢板	今北 民憲	パークレイ	錦織 啓市	栃木ヶ丘	堀口 守	皐月・鹿沼
12	8:58	竹村 武郎	那須	三橋 和彦	サンヒルズ	藤城 悠	下野	小林 令二	ユーアイ
13	9:06	緑川 文雄	塩原	駒場 宏之	宇都宮	武藤 末治	ゴールデンレイクス	富澤 和行	東松苑
14	9:14	新津 淳	広陵	渡辺 英雄	矢板	瀬谷 傳	烏山城	小杉 賢一	皐月・鹿沼
15	9:22	藤原 正己	唐沢	赤名 房徳	下野	中元 宏一	大平台	森田 浩敏	宇都宮
16	9:30	中丸 正弘	栃の木	西森 隆	鬼怒川	木村 守昭	東宇都宮	塚田 和英	栃木ヶ丘
17	9:38	前島 末男	鶴	須永 光男	サンヒルズ	樋山 儀男	那須小川	池田 英夫	塩原
18	9:46	鈴木 敏之	南摩城	別府 一男	東松苑	-	思い川東急	中島 芳幸	パークレイ
19	9:54	田口 雅一	風月	佐野 登	那須	兵藤 一雄	喜連川	薄井 親男	ユーアイ
20	10:02	舟木 敏行	杉ノ郷	峰岸 佳三	ゴールデンレイクス	宮田 史朗	広陵	坂巻 光信	東宇都宮
21	10:10	高倉 健一	風月	新井 博	唐沢	加藤 昭	那須小川	藤本 秀夫	杉ノ郷
22	10:18	諸田 光男	栃の木	佐藤 治	鬼怒川	新田 軍太郎	パークレイ	黒山 逸男	皐月・鹿沼
23	10:26	山岸 靖	サンヒルズ	水戸部 秀男	ユーアイ	石川 栄男	宇都宮	鹿山 秀佳	東松苑

10番(西コース)よりスタート Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	田中 力男	広陵	結城 昌吉	パークレイ	笠井 昌孝	鶴	-	-
2	7:38	藤城 拓也	下野	大石 実	杉ノ郷	山下 一二三	東松苑	-	-
3	7:46	佐藤 定雄	鬼怒川	田村 大作	烏山城	関根 益隆	那須	斉藤 修一	那須小川
4	7:54	塩山 博之	宇都宮	-	思い川東急	青木 秀樹	栃木ヶ丘	佐藤 友久	唐沢
5	8:02	片柳 等	ユーアイ	白石 哲也	南摩城	半田 容一	矢板	塩野目 規雄	風月
6	8:10	江良 敏	サンヒルズ	関口 俊一	大平台	渡部 富夫	ゴールデンレイクス	杉本 渡	東宇都宮
7	8:18	山崎 唯普	皐月・鹿沼	木村 光芳	喜連川	橋本 和彦	塩原	重光 健一	栃の木
8	8:26	茂木 国雄	広陵	田所 靖浩	烏山城	亀井 隆	唐沢	瀬口 卓	大平台
9	8:34	安村 省二	栃の木	吉原 芳雄	鬼怒川	関根 勝彦	栃木ヶ丘	高橋 是光	サンヒルズ
10	8:42	本田 昌之	塩原	湊 弘充	東松苑	-	思い川東急	塩澤 修次	風月
11	8:50	加藤 文英	喜連川	柏木 豪	杉ノ郷	赤羽 弘光	矢板	柿沼 博司	皐月・鹿沼
12	8:58	寺沢 洋	下野	増淵 洋介	宇都宮	吉羽 成智	東宇都宮	山崎 道孝	鶴
13	9:06	半田 安則	那須小川	鈴木 栄一	南摩城	本間 洋一	パークレイ	有明 利昭	那須
14	9:14	小室 功一	ユーアイ	国谷 賢吉	ゴールデンレイクス	大輪 達也	広陵	奥山 一郎	栃木ヶ丘
15	9:22	横内 義之	喜連川	高原 健	宇都宮	藤咲 光司	鬼怒川	佐藤 瑞之	風月
16	9:30	秋元 真一	下野	関根 俊夫	南摩城	-	思い川東急	若色 正	皐月・鹿沼
17	9:38	田村 次郎	那須小川	穴戸 重一	ゴールデンレイクス	遠藤 岳志	矢板	石井 誠	鶴
18	9:46	直井 人志	ユーアイ	平野 正美	栃の木	小野 忠	東宇都宮	水口 貴文	那須
19	9:54	白石 忠信	大平台	大和 克己	東松苑	岸野 道栄	パークレイ	黒江 成典	唐沢
20	10:02	八木沢 則幸	塩原	浅野 正吾	烏山城	古澤 雅文	サンヒルズ	江原 進	杉ノ郷
21	10:10	-	思い川東急	鈴木 良和	烏山城	田中 志郎	鶴	荒居 博司	喜連川
22	10:18	藤田 孝	大平台	三浦 広紀	南摩城	清野 幸一	矢板	鈴木 文俊	栃木ヶ丘
23	10:26	松井 譲二	那須	福田 栄二	下野	相馬 孝一	塩原	篠崎 正典	ゴールデンレイクス

競技委員長 平山 誠一

平成 18 年度
関東倶楽部対抗栃木第 2 ブロック予選競技

開 催 日：平成 18 年 5 月 25 日（木）

開催コース：東宇都宮カントリークラブ 南・西コース

競 技 の 条 件

1 . ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2 . 使用球の規格

『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 (c)1a』を適用する。(ゴルフ規則 161 ページ参照)

3 . スタート時間

『ゴルフ規則付 (c)2』を適用する。(ゴルフ規則 162 ページ参照)

4 . ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 (c)6b』を適用する。(ゴルフ規則 165 ページ参照)

5 . プレーの中断と再開

(1) プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**とする。

この条件の違反の罰は競技失格（ゴルフ規則 6-8b 注）

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

または競技委員を通じて競技者に連絡する。

6 . キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 (c)3』を適用する。

(ゴルフ規則 163 ページ参照)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があつたりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。**このローカルルールの違反の罰は、2打。**
7. 樹木保護のための巻物施設(巻網など)は樹木の一部とみなす。ただし、樹木の巻物にはさまった球は、**罰なしに**、その真下の地点から1クラブレンジ以内で、しかもホールに近づかない所にドロップすることができる。取り出した球はふくことができる。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。**このローカルルールの違反の罰は、2打。**
8. 1番と9番ホール、3番と6番ホール、4番と5番ホールおよび4番と6番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。
9. 9番ホールのグリーン奥に設置されている球止用の枕木による擁壁は、コースと不可分の構築物とする。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱を限度とする。
3. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

競技委員長 平山 誠一